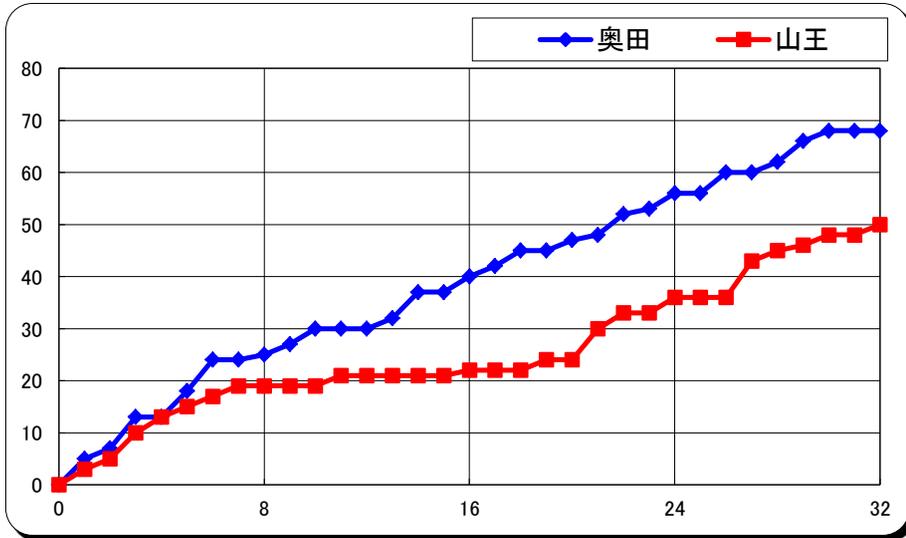




【得点経過】



大会名	東日本大震災復興支援 平成24年度全国中学校体育大会 第42回全国中学校バスケットボール大会																
会場	春日部市総合体育館																
日時	平成24年8月23日(木) 16:10																
コート	Eコート 第6試合																
カテゴリー	男子 決勝トーナメント準々決勝																
主審	山崎人志 (本部)																
副審	藤代透 (東京都)																
Team A		Team B															
奥田 (富山県)	68	山王 (秋田県)															
	<table border="1"> <tr><td>25</td><td>1st</td><td>19</td></tr> <tr><td>15</td><td>2nd</td><td>3</td></tr> <tr><td>16</td><td>3rd</td><td>14</td></tr> <tr><td>12</td><td>4th</td><td>14</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	25	1st	19	15	2nd	3	16	3rd	14	12	4th	14	OT			50
25	1st	19															
15	2nd	3															
16	3rd	14															
12	4th	14															
OT																	

【BOXスコア】

Team A		奥田					
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則
4	長友 陸矢	×	11	3	1	0	1
5	笹倉 怜寿	×	19	1	6	4	1
6	八村 塁	×	10	0	5	0	1
7	畑 知輝	×	6	2	0	0	3
8	横山 詢	DNP	0	0	0	0	0
9	川村 悠登	DNP	0	0	0	0	0
10	小柴 匡暁	DNP	0	0	0	0	0
11	杉山 佑季	DNP	0	0	0	0	0
12	飴谷 由毅	DNP	0	0	0	0	0
13	柳瀬 亮	/	7	1	1	2	2
14	高橋 龍弥	/	8	2	1	0	3
15	西頭 飛翔	×	7	0	3	1	1
16	吉田 拓生	DNP	0	0	0	0	0
17	岡山 翔太郎	/	0	0	0	0	0
18	奥野 亮	DNP	0	0	0	0	0
監督	西田 直彦						0
コーチ	坂本 穰治						0
合計			68	9	17	7	12

Team B		山王					
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則
4	成田 岳	×	14	4	1	0	3
5	鈴木 海星	×	5	0	2	1	3
6	杉本 天昇	×	20	2	4	6	1
7	渡邊 愛大	/	0	0	0	0	1
8	小野 圭介	×	2	0	0	2	5
9	伊藤 慶一郎	DNP	0	0	0	0	0
10	三浦 拓郎	DNP	0	0	0	0	0
11	川村 裕太郎	×	9	1	3	0	4
12	佐藤 聖	DNP	0	0	0	0	0
13	高木 和仁	DNP	0	0	0	0	0
14	大森 宇栄	DNP	0	0	0	0	0
15	佐藤 凧斗	DNP	0	0	0	0	0
16	長谷部 海斗	DNP	0	0	0	0	0
17	安杖 海人	DNP	0	0	0	0	0
18	古宇田 曜平	DNP	0	0	0	0	0
監督	小納 英之						0
コーチ	齊藤 徳子						0
合計			50	7	10	9	17

【戦評】

北信越ブロック代表の奥田（富山県）と東北ブロック代表の山王（秋田）による、ベスト4をかけた対戦。1Q、奥田はオールコートマンツーマンDef、山王は、2-2-1ゾーンプレスから2-3ゾーンDefでスタート。奥田は、#4のジャンプショットと3Pで先制点を取り、#6のインサイドで確実に加点。それに対し、山王は、#6の3P、ドライブ、#11の3Pで加点。点の取り合いとなり、25-19奥田リードで終了。2Q、お互い譲らず、激しい攻防が続く。奥田は#6のインサイドで加点していくと、さらに#13のジャンプショット。#14の3Pで点差を広げ、残り2分で、37-21となる。山王は、タイムアウトを取り、リズムを掴もうとするが、点差は縮まらず、40-22奥田リードで終了。

3Q、お互いにマンツーマンでスタート。両チームともシュートが決まらず、守り合いとなる。残り3分を切ったところで、山王の#6が3Pを決めるが、奥田も負けずに#14が3Pを入れ替えし、山王の追撃を許さない。56-36奥田リードで4Qを迎える。4Q、山王は、オールコートマンツーマンで、奥田のミスを探し、#4の3P、#6のジャンプショットで反撃し、リズムを掴むが、奥田は落ち着いて、ボールを回し、確実に加点していく。山王は、最後まで激しいディフェンスで頑張りを見せるが、力及ばず、68-50で、奥田が準決勝進出を決めた。

【戦評記入者】

西岡 義幸